
意味がわかると怖い話

momoka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味がわかと怖い話

【Nコード】

N1014M

【作者名】

m o m o k a

【あらすじ】

題名の通り、【意味がわかと怖い話】です。

1話ごとに問題↓解説をしていきたいと思えます。

1話に2〜3つほど入れるので、是非見てください。

【意味がわかと怖い話ORIGINALver. <http://ncode.syosetu.com/n4493m/>】

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

原作：2ch意味がわかと怖い話

file 1【電気】 file 2【イヤホン】（前書き）

最初は、かなり簡単だと思います。

file 1【電気】

file 2【イヤホン】

file 1

怖いから部屋から風呂まで
全部電気つけて風呂入ってきた＼（＾Ｏ＾）/
だるまさんが転んだは平気だった

むしろ風呂出て部屋の電気つける時
掛けてた鞆が落ちた時のほうがビビったw

ヒント【文をよく見ると分かります】

だるまさんが転んだとは風呂場で髪を洗いながら「だるまさんが
転んだ」と口か心の中で言う
後ろに霊がいるアレだと思われる。

file
2

今日9800円で買ったイヤホンが壊れた

大音量で聴いてたせいかいきなり途切れやがった

くそ。9800円もしたつてのに。

俺は腹が立って45万円のプラズマテレビを座布団に叩きつけた

はつと我に返り、あわてて壊れていないか確認した

画面が映る。良かった。と思ったら音が出ない

くそ。45万円のプラズマテレビまで壊れてしまった 送料込みで

47万円の損だ

それにしても今日は静かだな 気晴らしに散歩にでもいこう。

【ヒント】

イヤホンを大音量で聞いていた事とその後の出来事がヒント。

file / 1【電気】 file / 2【イヤホン】（後書き）

わかりましたか？

答えは次の話です。

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

file 1【電気】

file 2【イヤホン】の解説（前書き）

解説です。

file / 1【電気】

file / 2【イヤホン】の解説

file / 1 解説

注目ポイント

怖いから 『部屋から風呂まで
全部電気つけて』 風呂入ってきた＼（＾Ｏ＾）/
だるまさんが転んだは平気だった

むしろ風呂出て 『部屋の電気つける時』
掛けてた鞆が落ちた時のほうがビビったw

分かりましたか？

部屋から風呂に行くまでは電気は点いていたんです。
しかし、風呂からあがると電気をつけたと言う表現に
なっている事から電気は消えていたと言う事になります。
つまり、何者かが電気を消した事になります。

file
2
解説

今日9800円で買ったイヤホンが壊れた

『大音量で聴いてたせい』 かいきなり途切れやがった
くそ。9800円もしたつてのに。

俺は腹が立って45万円のプラズマテレビを座布団に叩きつけた
はっと我に返り、あわてて壊れていないか確認した
画面が映る。良かった。と思ったら 『音が出ない』

くそ。45万円のプラズマテレビまで壊れてしまった 送料込みで
47万円の損だ

それにしても 『今日は静か』 だな 気晴らしに散歩にでもいこ
う。

まず、注目すべき点は大音量で聞いていた事。
テレビの音すら聞こえないと言う事は・・・
【耳が聞こえなくなった】ということです。

file / 1【電気】 file / 2【イヤホン】の解説（後書き）

よくわかりましたか？

よく読めばきつと分かるハズです！

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

file 3【アイスピック】

file 4【井戸】

file 5【心霊言

file 3

近ごろの警察はなにやってるんだろっね。
血税でで食わせてもらってるくせに、ろくな働きしねえんだからと
んだ穀潰しだ。

先週、職場の近くで殺人事件があつたんだよ。

若い女をアイスピックでめつた刺し。しかも普通のアイスピックじゃない、業務用の三本歯のやつでだぜ？怖えだろ。

小さな町だから、どこいってもその話で持ちきりだよ。

マスコミもかなり大きく取り上げてる。滅多にない大ニュースだから無理もないけど、恐怖を煽るだけ煽って無責任なもんだ。

うちのばあちゃんなんか、可哀相なくらい怯えちゃって、毎日何時間も仏壇の前で手を合わせてる。

なのに警察ときたら、まだ凶器すら判明できないだよ。まったく馬鹿にしてるとしか思えないね。

ヒント【これは警察側の話じゃないそうです。】

file
,
4

ある日、泣き声がしゃくに障ったので妹を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
5年後、些細なけんかで友達を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
10年後、酔った勢いで孕ませてしまった女を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
15年後、嫌な上司を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた

20年後、介護が必要になった母が邪魔なので殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていなかった
次の日も、次の日も死体はそのままだった

ヒント【母だけが消えなかったんです。】

file
'5

俺の誕生日に、ホームパーティを開いたわけ。

その時、家の中で皆の写真をとって見たら、変なものが映っちゃったのよ。

背後の押入れから見知らぬ青白い顔の女が顔を出して、睨みつけてんの。

これやベーじゃんってことで、霊能者に写真を鑑定してもらった。

そしたら、「この写真からは霊気を感じない。心靈写真でも何でも
ないよ。」だとき。

あゝあ、ビックリさせやがって。

ヒント【何か写ったのに心霊写真じゃないって事は・・・】

file 3【アイスピック】

file 4【井戸】

file 5【心霊

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

file 3【アイスピック】

file 4【井戸】

file 5【心霊

解説です。

file 3【アイスピック】

file 4【井戸】

file 5【心霊

file 3 解説

注目ポイント』

近ごろの警察はなにやってるんだろっね。
血税でで食わせてもらってるくせに、ろくな働きしねえんだからと
んだ穀潰しだ。

先週、職場の近くで殺人事件があつたんだよ。

若い女をアイスピックでめつた刺し。しかも『普通のアイスピックじゃない、業務用の三本歯のやつ』でだぜ？怖えだろ。小さな町だから、どこいってもその話で持ちきりだよ。

マスコミもかなり大きく取り上げてる。滅多にない大ニュースだから無理もないけど、恐怖を煽るだけ煽って無責任なもんだ。

うちのばあちゃんなんか、可哀相なくらい怯えちゃって、毎日何時間も仏壇の前で手を合わせてる。

なのに警察ときたら、まだ凶器すら判明できないだよ。まったく馬鹿にしてるとしか思えないね

なぜ、警察すら知らない凶器を知っているのか？
そう、犯人だからです。

file / 4 解説

ある日、泣き声がしゃくに障ったので妹を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
5年後、些細なけんかで友達を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
10年後、酔った勢いで孕ませてしまった女を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた
15年後、嫌な上司を殺した、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと死体は消えていた

20年後、介護が必要になった『母が邪魔なので殺した』、死体は井戸に捨てた

次の日見に行くと『死体は消えていなかった』
次の日も、次の日も死体はそのままだった

母だけ消えなかったと言うことは【母を片付ける人がいなかった】ということ。

つまり、母が息子思いで息子が井戸に投げ込むたびに片付けていて、

その母が

投げ込まれてそのまま残ったという事です。

file
5
解説

俺の誕生日に、ホームパーティーを開いたわけ。

その時、家の中で皆の写真をとってみたら、変なものが映っちゃったのよ。

背後の押入れから 『見知らぬ青白い顔の女が顔を出して』、睨みつけてんの。

これやベーじゃんってことで、霊能者に写真を鑑定してもらった。

そしたら、『「この写真からは霊気を感じない。心靈写真でも何でもないよ。」』だとさ。

あゝあ、ビックリさせやがって。

霊力を感じない「怖くないになりがちですが、霊じゃないと言っている人になりますね。」
でも、見知らない人がなぜココにいるんですか？って言うことです
ね。

file 3【アイスピック】

file 4【井戸】

file 5【心霊

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】

（前書き）

1 話目はかなり有名なヤツです。

2 話目は案外簡単なヤツです。

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】

f i r e ' 6

久しぶりに実家に帰ると、亡くなった母を思い出す

母は認知症だった

身の回りの世話をつきつきりできていた父を困らせてばかりいた姿が目につく

そして今は亡き母の書斎に入った時、私は初めて違和感を覚えた母にプレゼントしたカレンダーが見つからない

何の気無しにテーブルを漁ると、ハサミでバラバラにされた幾つかのカレンダーの切れ端が順序良く並んでいる事に気が付いた

母はどんなに呆けていても、私のプレゼントは大切にしてくれていたのにと、私はショックを受けた

私は感傷とともに並べられた日付を整理した

4 / 4	4 / 4	4 / 1 0	6 / 1 1	3 / 1	6 / 1 2	5 / 6
7 / 2	6 / 7	6 / 1 7	4 / 1 0	4 / 1 4	5 / 1 6	

私は一枚だけ向きが逆になっている6 / 1 7に気づき、他の日付と同じ向きに変えていると、一階の父が私を呼んだ。

今日から五年振りの父の手料理が食べられる。

感傷を胸に押し込み、私は母の書斎を後にした

ヒント【これはかなり難しいです。
 $4/4$ $4/4$ $4/4$ $4/10$ 6
 $/11$ $3/1$ $6/12$ $5/6$ $7/2$ $6/7$ $6/17$
 $4/10$ $4/14$ $5/16$ を周期表で表すと、答えが出てきま
 す。】

ニューヨークの地下鉄を私はよく利用する。

f
i
r
e
'
7

毎朝通勤の度に地下鉄構内で何やらぶつぶつ言ってる一人のホームレスの男がいた。

男の近くの壁に寄り掛かり内容を盗み聞きした。

目の前をおばさんが通る。すると男は

「豚」

と呟いた。

私は思った。なんだただの悪口か、動物に例えているだけか…。

次に普通のビジネスマンが通る。すると男は

「人」

ああ、まさに普遍的人間って感じの人だな…。

別の日、暇潰しにまた盗み聞きしてみる。

男の目の前をやつれた男が通る。すると男は

「牛」

と呟いた。

牛？どちらかと言うと痩せた鳥だが…？

次に典型的な肥満の男が通る、すると男は

「野菜」

と呟いた。

野菜？豚の間違いだろ？

私は家に帰り考えた。

もしや、次に生まれ変わる生き物、すなわち転生を言い当てるのか！？

その後、何度もホームレスを観察しているうちに疑問も確信に変わった。

ある日思い切ってホームレスに疑問をぶつけ、能力を身につける方法を教えてくれと懇願した。

ホームレスは淀んだ目で私を見つめた後、私の頭に手をかざした。

次の日からホームレスはいなくなつた。仙人だったのだろうか？はたまた神か？私は能力を身につけた。

それは期待するものとは違っていた。
ただ単に、その人が直前に食べたものだった
私はあまりのくだらなさに笑ってしまった。

ヒント【文の中に答えがあります。】

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】

（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】

解説（前

解説です。

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】解説

f i r e ' 6 解説

注目ポイント『

久しぶりに実家に帰ると、亡くなった母を思い出す

母は認知症だった

身の回りの世話をつきつきりで行っていた父を困らせてばかりいた姿が目につく

そして今は亡き母の書斎に入った時、私は初めて違和感を覚えた母にプレゼントしたカレンダーが見つからない

何の気無しにテーブルを漁ると、ハサミでバラバラにされた幾つかのカレンダーの切れ端が順序良く並んでいる事に気が付いた

母はどんなに呆けていても、私のプレゼントは大切にしてくれていたのにと、私はショックを受けた

私は感傷とともに並べられた日付を整理した

『4 / 4 4 / 4 4 / 1 0 6 / 1 1 3 / 1 6 / 1 2 5 / 6 7 / 2 6 / 7 6 / 1 7 4 / 1 0 4 / 1 4 5 / 1 6』

私は一枚だけ『向きが逆になっている6 / 1 7』に気づき、他の日付と同じ向きに変えていると、一階の父が私を呼んだ。

今日から五年振りの父の手料理が食べられる。

感傷を胸に押し込み、私は母の書斎を後にした

ら	1 6	7 / 2		6 / 7		6 / 1 7	4 / 1 0	6 / 1 1	3 / 1	6 / 1 2	5 / 6
れ											
た											
に											
げ											
て											
ち	2	4 / 4		6 / 1 1		3 / 1	6 / 1	5 / 1 6			
ち	5 / 6	4 / 4									
に											
あ											
う											
な											
h											
g											
も											

をなおすと

7 / 2 6 / 7 6 / 1 7 4 / 1 0 4 / 1 4 5 / 1 6

4 / 4 4 / 4 4 / 1 0 6 / 1 1 3 / 1 6 / 1 2 5 / 6

になりす。

つまり、hgは人体に悪影響を及ぼす物質で今から食べるご飯も危
ない、と言つ事です。

(Hg 水銀です)

f
i
r
e
/
解
説

ニューヨークの地下鉄を私はよく利用する。

毎朝通勤の度に地下鉄構内で何やらぶつぶつ言ってる一人のホームレスの男がいた。

男の近くの壁に寄り掛かり内容を盗み聞きした。

目の前をおばさんが通る。すると男は

「豚」

と呟いた。

私は思った。なんだただの悪口か、動物に例えているだけか…。

次に普通のビジネスマンが通る。すると男は

「人」

ああ、まさに普遍的人間って感じの人だな…。

別の日、暇潰しにまた盗み聞きしてみる。

男の目の前をやつれた男が通る。すると男は

「牛」

と呟いた。

牛？どちらかと言うと痩せた鳥だが…？

次に典型的な肥満の男が通る、すると男は

「野菜」

と呟いた。

野菜？豚の間違いだろ？

私は家に帰り考えた。

もしか、次に生まれ変わる生き物、すなわち転生を言い当てるのか！？

その後、何度もホームレスを観察しているうちに疑問も確信に変わった。

ある日思い切ってホームレスに疑問をぶつけ、能力を身につける方法を教えてくれと懇願した。

ホームレスは淀んだ目で私を見つめた後、私の頭に手をかざした。

次の日からホームレスはいなくなつた。仙人だったのだろうか？は

たまた神か？私は能力を身につけた。

それは期待するものとは違っていた。

ただ単に、『その人が直前に食べたもの』

だった

私はあまりのくだらなさに笑ってしまった。

ホームレスが言った中に「人」がありましたよね。

その能力は直前に食べたものがわかるのです。つまり・・・

f i r e ' 6 【母からの暗号】

f i r e ' 7 【地下鉄のホームレス】

解説（後

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 8 【お星さま】

f i r e ' 9 【眠りに落ちた美女】

f i r e ' 8

少女のところに
お星さまが
降り立ちました。

「なんでも一つ願いをかなえてあげよう」

お星さまはいいいました。

少女は泣いていました。

「家族を消してちょうだい！あんな家族、まっぴらよ！」

次の日、少女が目覚まして一階へおりと、いつものようにおかあさんと

おとうさんとおにいちゃんがいました。

少女は後悔しました。

その夜、再びお星さまは少女の目の前にあらわれました。

「気に入ってもらえたかな」

少女はいいいました。

「昨日のおねがいをとりけしてちょうだい」

お星さまはいいいました。

「一度かなえたおねがいはとりけせないよ」

少女は泣きました。

ヒント【文章をよく読んで！】

f i r e ' 9

ある日僕は学校の美術室の掃除当番だった

早く終わらせて帰ろうと思い急いでいたら
一枚の絵が大事そうに飾られているのを見つけた
その絵はとても綺麗な女の人の肖像画だったが
少し不気味で目に特徴があった
とても大きな瞳でこっちをみている気がした

なんだか怖くなり急いで掃除を終わらせ帰った
次の日学校は大騒ぎになっていた

例の美術室の絵が盗まれたのだ

最後に絵を見たということで僕は美術の先生にいろいろ聞かれた

「なるほど掃除をした時にはちゃんとあつたんだね」

「間違いないです、あの絵は高価なものなんですか？」

「あれは『眠りに落ちた美女』といって私の知人の画家が自分の娘
の寝顔を見て描いたものなんだ、特に価値はない

最も画家も娘ももうこの世にいないけどね」

「そうなんですか・・・」

あの絵は結局見つからなかった、

不思議なことに泥棒が入った痕跡はなかったらしい

ヒント【これも文の中に答えがあります！】

f i r e ' 8 【お星さま】 f i r e ' 9 【眠りに落ちた美女】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません

f i r e ' 8 【お星さま】

f i r e ' 9 【眠りに落ちた美少女】解説

f i r e ' 8 解説

注目ポイント』

少女のところにお星さまが降り立ちました。

「なんでも一つ願いをかなえてあげよう」

お星さまはいいました。

少女は泣いていました。

『「家族を消してちょうだい！あんな家族、まっぴらよ！」』

次の日、少女が目覚まして一階へおると、『いつものようにおかあさんと

おとうさんとおにいちゃんがいきました。』

少女は後悔しました。

その夜、再びお星さまは少女の目の前にあらわれました。

「気に入ってもらえたかな」

少女はいいました。

「昨日のおねがいをとりけしてちょうだい」

お星さまはいいました。

「一度かなえたおねがいはとりけせないよ」

少女は泣きました。

いつも通り家族がいたと言う事はその家族は義理で、この世のどこかに居る

【本当の家族】を消してしまったという事。

ある日僕は学校の美術室の掃除当番だった

早く終わらせて帰ろうと思い急いでいたら
一枚の絵が大事そうに飾られているのを見つけた
その絵はとても綺麗な女の人の肖像画だったが
少し不気味で目に特徴があった

『とても大きな瞳でこつちをみていた』
なんだか怖くなり急いで掃除を終わらせ帰った
次の日学校は大騒ぎになっていた

例の美術室の絵が盗まれたのだ

最後に絵を見たということでは僕は美術の先生にいろいろ聞かれた

「なるほど掃除をした時にはちゃんとあったんだね」

「間違いないです、あの絵は高価なものなんですか？」

「あれは『眠りに落ちた美女』 といって私の知人の画家が自分の娘

の寝顔を見て描いたものなんだ、特に価値はない

最も画家も娘ももうこの世にいないけどね」

「そうなんですか・・・」

あの絵は結局見つからなかった、

不思議なことに泥棒が入った痕跡はなかったらしい

文中に寝顔を見ながら描いたと言っている事から目はつぶっていた絵になる

はずです。しかし、大きな瞳で見られたという事は、本来なら目をつぶっているはずの

絵が目を見開いた・・・と言うことになります。

さらに、泥棒が入った痕跡が無いと言う事は絵がひとりで行ったのでしょうか・・・

f i r e ' 8 【お星さま】

f i r e ' 9 【眠りに落ちた美少女】解説（後書き

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 0 【悲しんでくれるかい？】

f i r e ' 1 1 【電話の内容】

f i r e ' 1 0

一人の女の子がいた。性格は明るく、小学校ではたくさんの友達に囲まれていた。

また、女の子は大のおじいちゃん子で、おじいちゃんも女の子の事を本当に可愛がった。

しかし、おじいちゃんは今は入院しており、余命は長くなかった。医師がもう残りわずかの命である事を伝え、女の子は両親に連れられ病院に行った。

病室で女の子の両親はおじいちゃんと話した後、医師の説明を受けて病室を出て行った。

病室には女の子とおじいちゃんの二人。

女の子はおじいちゃんに、学校の事や最近楽しかった事などいろいろな事を話した。

しかし、途中で女の子は泣きながら

「おじいちゃんいなくなるの？」

と聞いた。するとおじいちゃんは

「おじいちゃんが死んだら、お父さんとお母さんと一緒に悲しんでくれるかい？」

と言った。女の子は

「うん……でも死んじやいやだよ」
とつぶやいた。

その後、女の子は家に帰ることになり、その次の日おじいちゃんは
帰らぬ人となった。

女の子はその日、わんわん泣いた……。

一か月後、ある記事が新聞の隅に載った。

一部抜粋すると

「一家心中、動機は全くの不明。女の子の名前は斉藤加奈ちゃん」

ヒント【おじいちゃん言葉と新聞の記事に注目】

fire / 11

明け方に、彼女から電話がかかってきた。
電話に出たが、何故かあいつは息を切らしていて、俺が挨拶しても返事がない。

一言だけ「話して、話して」と言ってきたが、何を話せばよいのやら。
よくよく聞けば、電話の向こうから

「もつと聞こえるように言ってやれよ、愛しの彼氏へ」
と、友人の笑い声が聞こえてくる。

さてはあいつら、俺を差し置いて飲んでるんだな、きつと。
飲み屋の騒音で俺の声が届いていないんだ。畜生。

「話して」って、電話越しにトークさせるつもりか。
乱入してやろうかとも考えたけど、

急に電話も切れちまったし、眠気には抗えないので、やめた。

ヒント【文章をよく見ると分かる。】

f i r e / 1 0 【悲しんでくれるかい？】 f i r e / 1 1 【電話の内容】

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 0 【悲しんでくれるかい？】

f i r e ' 1 1 【電話の内容】 解説

f i r e ' 1 0 解説

注目ポイント『

一人の女の子がいた。性格は明るく、小学校ではたくさんの友達に囲まれていた。

また、女の子は大のおじいちゃん子で、おじいちゃんも女の子の事を本当に可愛がった。

しかし、おじいちゃんは今は入院しており、余命は長くなかった。医師がもう残りわずかの命である事を伝え、女の子は両親に連れられ病院に行った。

病室で女の子の両親はおじいちゃんと話した後、医師の説明を受け、病室を出て行った。

病室には女の子とおじいちゃんの二人。

女の子はおじいちゃんに、学校の事や最近楽しかった事などいろいろな事を話した。

しかし、途中で女の子は泣きながら

「おじいちゃんいなくなるの？」
と聞いた。するとおじいちゃんは

「おじいちゃんが死んだら、お父さんとお母さんと『一緒に悲しんでくれるかい？』」
と言った。女の子は

「『うん』……でも死んじやいやだよ」
とつぶやいた。

その後、女の子は家に帰ることになり、その次の日おじいちゃんは帰らぬ人となった。

女の子はその日、わんわん泣いた……。

一か月後、ある記事が新聞の隅に載った。

一部抜粋すると

「一家心中、動機は全くの不明。『女の子の名前は斉藤加奈ちゃん』」

おじいちゃんの言っていた

「おじいちゃんが死んだら、お父さんとお母さんと一緒に悲しんでくれるかい？」

の部分の【お父さんとお母さんと悲しんでくれるかい？】は

【お父さんとお母さんと加奈、死んでくれるかい？】になります。かなり無理やりっぽいですが、怖いです。

明け方に、彼女から電話がかかってきた。
電話に出たが、何故かあいつは『息を切らして』いて、俺が挨拶しても返事がない。

一言だけ『「話して、話して」』と言ってきたが、何を話せばよいのやら。

よくよく聞けば、電話の向こうから

『「もつと聞こえるように言ってやれよ、愛しの彼氏へ」』
と、友人の笑い声が聞こえてくる。

さてはあいつら、俺を差し置いて飲んでるんだな、きつと。
飲み屋の騒音で俺の声が届いていないんだ。畜生。

「話して」って、電話越しにトークさせるつもりか。
乱入してやろうかとも考えたけど、

急に電話も切れちまつたし、眠気には抗えないので、やめた。

これは、彼女の話して、話しては話すではなくて【離す】です。

つまり【離して、離して】といていた事になり、
息を切らせていたのは友人で彼女が強姦されていたと言っ事です。
怖いですね・・・

f i r e ' 1 0 【悲しんでくれるかい？】

f i r e ' 1 1 【電話の内容】 解説

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 2 【停電】 f i r e ' 1 3 【犯人は・・・】（前書き）

今回はかなり簡単なので

あつというまに答え分かっちゃうんじゃないでしょうか？

f i r e ' 1 2 【停電】 f i r e ' 1 3 【犯人は・・・】

f i r e ' 1 2

風呂上がりに、テレビでも見ながら髪を乾かそうかと
思っでドライヤーを持って部屋へ行っでテレビをつける。

いきなり怖い女の人の顔どアップ。怖い話の特集かな。
なんか色がおかしいけど、まあサイクルショップで
安くで買った古いテレビだからしょうがないか。
などと思いつつドライヤーをオンにしたらいきなり

電気がバツン！と切れて真っ暗になった。

あっちゃ、クーラー入れたままドライヤーは無理があつたか

と思いつつ、テレビの光を頼りにブレーカーの所に行ったら
やっぱりブレーカーが落ちてやがった。

ヒント【普通ならありえない事が起こっています。】

fire
'13

とある街で起きた女児童暴行殺人事件

年若い児童が見るも無惨な殺され方をしたと言う事で人々の注目は高まりTV局はニュース時に報道すべく、その被害者の父親にインタビューを行う事にした。

レポーター「今の心境の程は？」父親「心境もなにも・・・まだ信じられません今でもあの子が帰ってくるような気がして・・・」

レポーター「。。。ちゃんは、どんなお子さんだったのですか？」

父親「いつも元気で、ニコニコと本当に笑顔の可愛い子でね、本当に信じられない・・・」

レポーター「何か犯人にたいして言いたい事はありますか？」

父親「言う事なんてありませんよ、一刻も早く捕まえて死刑にして欲しいこんな奴人間じゃない・・・」

レポーター「最後に何か言いたい事はありますか？」

父親「本当に警察には頑張って欲しいです、1日も早く犯人を捕ま

えに来て欲しいと願っています。。。。。のためにも願うばかりです。

「レポーター」そうですね、全国の皆さんも早く犯人が捕まる事を願っていると思います。そして、。。。ちゃんのご冥福をお祈りいたします。」

この報道が流れた後に犯人は逮捕された。
父親の望み通り死刑になったという話だ。

ヒント【文の中に答えがあります。】

f i r e ' 1 2 【停電】 f i r e ' 1 3 【犯人は・・・】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e / 1 2 【停電】

f i r e / 1 3 【犯人は・・・】解説

f i r e / 1 2

注目ポイント

風呂上がり、テレビでも見ながら髪を乾かそうかと思つてドライヤーを持つて部屋へ行つてテレビをつける。いきなり怖い女の人の顔どアップ。怖い話の特集かな。なんか色がおかしいけど、まあサイクルショップで安くで買った古いテレビだからしょうがないか。などと思いつつドライヤーをオンにしたらいきなり

電気がバツン！と切れて真っ暗になった。

あっちゃ、クーラー入れたままドライヤーは無理があつたか

と思いつつ、『テレビの光を頼りに』ブレーカーの所に行つたらやっぱりブレーカーが落ちてやがった。

停電が起きたのにテレビの明かりでブレーカーの所に行ったと言う事は……

少なくともテレビは電源でついていた訳ではなさそうです。

とある街で起きた女児童暴行殺人事件

年若い児童が見るも無惨な殺され方をしたと言う事で人々の注目は高まりTV局はニュース時に報道すべく、その被害者の父親にインタビューを行う事にした。

レポーター「今の心境の程は？」父親「心境もなにも・・・まだ信じられません今でもあの子が帰ってくるような気がして・・・」
レポーター「。。。ちゃんは、どんなお子さんだったのですか？」
父親「いつも元気で、ニコニコと本当に笑顔の可愛い子でね、本当

に信じられない・・・」

レポーター「何か犯人にたいして言いたい事はありますか？」

父親「言う事なんてありませんよ、一刻も早く捕まえて死刑にして欲しいこんな奴人間じゃない・・・」

レポーター「最後に何か言いたい事はありますか？」

父親「本当に警察には頑張つて欲しいです、 『1日も早く犯人を捕まえに来て欲しい』 と願っています。 のために願うばかりです。」

レポーター「そうですね、全国の皆さんも早く犯人が捕まる事を願っていると思います。そして、 の。 の。 ちゃんのご冥福をお祈りいたします。」

この報道が流れた後に犯人は逮捕された。
父親の望み通り死刑になったという話だ。

父親は『捕まえてほしい』ではなく『捕まえに来てほしい』
たんです。

つまり、犯人は父親って事になりますね。

f i r e ' 1 2 【停電】 f i r e ' 1 3 【犯人は・・・】解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

fire '14【パズル】

fire '15【アトリエ】

(前書き)

投稿遅くなりましたが

どうぞ楽しんでください^^;

f i r e ' 1 4 【パズル】

f i r e ' 1 5 【アトリヒ】

f i r e ' 1 4

やっぱパズルっていいよね！
最近一人暮らしするようになって、

部屋のインテリアとして、パズルを飾ることにしたんだよ。
光を浴びて、暗くなると光るってやつで、その光が儂くていいんだよ
ね。

この前も夜帰ってきたら、そのパズルが淡く光ってたさ、

なんか出迎えてくれているようで癒されたんだよ。
またパズルやりたくなってきたし、

今度は同じサイズで2000ピースのやつ買ってみるかな。

ヒント【夜光塗料の特性を考えれば分かる。】

f
i
r
e
'
1
5

10年程前の話。

美術の教師をしていた姉がアトリ工用に2DKのボロアパートを借りた。

その部屋で暮らしているわけではなく、絵を描くためだけに借りたアパート。

せっかく借りてるのに住まないなんてもったいない！

そう思った私は姉に頼み込んでその部屋で一人暮らしをさせてもらうことにした。

一人暮らし初日。わくわくしながらアトリエに帰宅。

くれぐれも戸締りに気をつけるようにと言われていたため帰ってすぐに玄関に鍵とチェーンをかけた。

その後夕飯を作ったり本を読んだりして楽しく一人の時間は過ぎていく。

気付くともう夜も更けていたため、もう一度戸締りをチェック、ガスの元栓も締め眠りについた。

しばらくして、多分夜中の2〜3時だったと思う。玄関がガチャッと開いた。

どうやら姉が絵を描きに來たらしい。

こんな時間に頑張るなあと、ウトウトしながら思っていると、私が寝ている隣の部屋に入っていた。

隣の部屋は画材やらキャンバスやら置いてある部屋。

そこで、姉はブツブツ言ったりクスクス笑ったりしてる。

うーん、やっぱり芸術家と怪しい人って紙一重だよなあ、と、酷い事を思いながらいつの間にか寝てしまった。

朝、目が覚めると姉はもう帰ったようで居なかった。

姉の絵に対する情熱は尊敬に値するよなあ、と思いつつ出掛ける準備をして家を出る。

玄関の鍵を閉めた時に、突然恐怖に襲われた。

それ以来、私がそのアトリエに足を踏み入れることはなかった。

ヒント【文章をよく読むと・・・】

f i r e ' 1 4 【パズル】 f i r e ' 1 5 【アトリエ】 (後書き)

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 4 【パズル】

f i r e ' 1 5 【アトリエ】解説

f i r e ' 1 4 解説

注目ポイント『』

やっぱりパズルっていいよね！

最近一人暮らしするようになって、

部屋のインテリアとして、パズルを飾ることにしたんだよ。

光を浴びて、暗くなると光るってやつで、その光が儂くていいよね。

この前も『夜帰ってきたら、そのパズルが淡く光ってた』さ、

なんか出迎えてくれているようで癒されたんだよ。

またパズルやりたくなってきたし、

今度は同じサイズで2000ピースのやつ買ってみるかな。

夜光塗料とは光を浴びた後に、『数分間の間』暗闇で光り続けます。
つまり、この部屋には直前まで光がついていた事になります。
さらに深読みすると、直前まで住人はいなかったなので『誰かがいた』
事になります。

10 年程前の話。

f i r e / 1 5 解説

美術の教師をしていた姉がアトリ工用に2DKのボロアパートを借りた。

その部屋で暮らしているわけではなく、絵を描くためだけに借りたアパート。

せっかく借りてるのに住まないなんてもったいない！

そう思った私は姉に頼み込んでその部屋で一人暮らしをさせてもらうことにした。

一人暮らし初日。わくわくしながらアトリエに帰宅。

くれぐれも戸締りに気をつけるようにと言われていたため帰ってすぐに『玄関に鍵とチェーンをかけた。』

その後夕飯を作ったり本を読んだりして楽しく一人の時間は過ぎていく。

気付くともう夜も更けていたため、もう一度戸締りをチェック、ガスの元栓も締め眠りについた。

しばらくして、多分夜中の2〜3時だったと思う。玄関がガチャッと開いた。

どうやら姉が絵を描きに來たらしい。

こんな時間に頑張るなあと、ウトウトしながら思っていると、私が寝ている隣の部屋に入っていた。

隣の部屋は画材やらキャンバスやら置いてある部屋。

そこで、姉はブツブツ言ったりクスクス笑ったりしてる。

うーん、やっぱり芸術家と怪しい人って紙一重だよなあ、と、酷い事を思いながらいつの間にか寝てしまった。

朝、目が覚めると姉はもう帰ったようで居なかった。

姉の絵に対する情熱は尊敬に値するよなあ、と思いつつ出掛ける準備をして家を出る。

玄関の鍵を閉めた時に、突然恐怖に襲われた。

それ以来、私がそのアトリエに足を踏み入れることはなかった。

玄関に鍵と『チェーン』をかけたになつてますよね？

普通なら外からは、はずせないはずのチェーンが何故はずれたのか？
人なら外せませんよね………？

f i r e ' 1 4 【パズル】 f i r e ' 1 5 【アトリエ】解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 6 【ストーカー】

f i r e ' 1 7 【双子の少女】

f i r e ' 1 6

今日もまた上司に怒鳴られた。

OL仲間の間でもかなり評判が悪いハゲだ。

「私のストーカーの犯人はあのハゲだったりして…。」

そんな事を考えつつ帰宅した。

家といっても、たった二部屋しかないボロアパート。

リビング＋キッチンと寝室だけ。

窓もリビングにしかない。安いからいけど。

玄関の鍵を開けて部屋に入ると、びっくりした。

リビングにあったタンスが荒らされていた。

そういや、朝食を食べに出た時に鍵をかけ忘れて、そのまま出勤したんだ……

くそっ！窓は全部鍵が掛かってるから、玄関から入られたんだろう。あー気持ち悪い。むかつく。死んで欲しいと思う。

もう今日は疲れた。晩ご飯はいいや。

警察には明日届けを出そう…

私は玄関の鍵を閉まってるのを確認し、寝室に向かった。

ヒント【犯人は玄関からしか入れないんです。】

f i r e ' 1 7

ある双子の少女が誘拐された。

その誘拐犯は

姉の耳元で囁いた

「抵抗したり逃げたら妹を殺すよ。」

その誘拐犯は

妹の耳元で囁いた

「抵抗したり逃げたら姉を殺すよ。」

ヒント【よく考えれば分かるはず!】

f i r e ' 1 6 【ストーカー】 f i r e ' 1 7 【双子の少女】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 6 【ストーカー】

f i r e ' 1 7 【双子の少女】解説

f i r e ' 1 6 解説

注目ポイント

今日もまた上司に怒鳴られた。

OL仲間の間でもかなり評判が悪いハゲだ。

「私のストーカーの犯人はあのハゲだったりして…。」

そんな事を考えつつ帰宅した。

家といっても、たった二部屋しかないボロアパート。

リビング＋キッチンと寝室だけ。

窓もリビングにしかない。安いからいけど。

玄関の鍵を開けて部屋に入ると、びっくりした。

リビングにあったタンスが荒らされていた。

そういや、朝食を食べに出た時に鍵をかけ忘れて、そのまま出勤したんだ……

くそっ！ 『窓は全部鍵が掛かってるから、玄関から入られた』
んだろう。

あー気持ち悪い。むかつく。死んで欲しいと思う。

もう今日は疲れた。晩ご飯はいいや。

警察には明日届けを出そう…

私は 『玄関の鍵を閉まってるのを確認し、寝室に向かった。』

鍵を開けっ放しにして帰ってくると鍵が掛かっていた……
つまり犯人は玄関から入って、中から鍵を掛けたことになり
このままでは大変なことになるでしょう。

ある 『双子の少女が誘拐された。』

f i r e
17 解説

その誘拐犯は

『姉の耳元で囁いた』

「抵抗したり逃げたら妹を殺すよ。」

その誘拐犯は

『妹の耳元で囁いた』

「抵抗したり逃げたら姉を殺すよ。」

なぜ、双子の姉と妹がわかったのか？
犯人は身内だからです。

f i r e ' 1 6 【ストーカー】

f i r e ' 1 7 【双子の少女】解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 8 【肝試し】 f i r e ' 1 9 【カミソリ】

f i r e ' 1 8

今日、男二人、女二人の計4人でダブルデートしてたんだよね。
で、季節も季節なもんだから肝試しでもするか！ってことになった。
んで近所のラブホテルの廃墟に行こうって話しになったんだ。

俺の車で山に入りすぐにそのラブホテルの廃墟に到着。

実は俺と友人は何回もこの廃墟に来た事があってもう慣れっこ
大量に張ってある御札とかあるんだが怖くも何ともないって感じた。

「さて行こっか！」って俺が言うをやっぱりというか女連中が怖が
って入りたがらない

俺「そんな怖い事無いって！」

友人「じゃあないね、俺らが先に行くから待ってなよ！」

その廃墟は外からベランダが見えるようになってるんだよね。

そのベランダを目指して構造も把握してる俺たち、2Fへの階段を
上りベランダへの一本道を猛ダッシュ。

ベランダから体出して「いえーいww」とかあほみたいに怖くない
よアピールしてたわww

その後はまあ女の子達とカラオケ行っ二人ずつに別れてしっぽり
と夜中のスポーツwっうはww

まあしいて言えば車のタイヤとフェンダーが山道の泥で汚れたことと
ベランダから戻る時、棚が邪魔で道が狭いもんだからお気に入り
の服が汚れちゃったこと

女が正直そこまで可愛くなかった事……

こんな物かな……あーあ、今日も楽しかったわ

ヒント【文中のⒶに答えが・・・】

f i r e ' 1 9

おい！こだ！

ばが姉ぎ！

おでが目わどういのじっでるだろ！

ぜん面所におでの齒ブラジとぼだじ色の眉ぞり用ガミゾリ置ぐな！

ヒント【言葉がおかしい理由は・・・】

f i r e ' 1 8 【肝試し】 **f i r e ' 1 9 【カミソリ】（後書き）**

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

fire '18【肝試し】

fire '19【カミソリ】

解説

fire '18

注目ポイント『

今日、男二人、女二人の計4人でダブルデートしてたんだよね。
で、季節も季節なもんだから肝試しでもするか！ってことになった。
んで近所のラブホテルの廃墟に行こうって話しになったんだ。

俺の車で山に入りすぐにそのラブホテルの廃墟に到着。

実は俺と友人は何回もこの廃墟に来た事があってもう慣れっこ
大量に張ってある御札とかあるんだが怖くも何ともないって感じた。

「さて行こっか！」って俺が言うことやっぱりというか女連中が怖が
って入りたがらない

俺「そんな怖い事無いって！」

友人「じゃあないね、俺らが先に行くから待ってなよ！」

その廃墟は外からベランダが見えるようになってるんだよね。

そのベランダを目指して構造も把握してる俺たち、 『2Fへの階
段を上りベランダへの一本道を猛ダッシュ。』

ベランダから体出して「いえーいww」とかあほみたいに怖くない
よアピールしてたわww

その後はまあ女の子達とカラオケ行って二人ずつに別れてしつぽり
と夜中のスポーツwつうはww

まあしいて言えば車のタイヤとフェンダーが山道の泥で汚れたことと

『ベランダから戻る時、柵が邪魔で道が狭いもんだからお気に入
りの服が汚れちゃった』 こと

女が正直そこまで可愛くなかった事……

こんな物かな……あーあ、今日も楽しかったわ

行きは普通に行けたのに帰りは柵が邪魔だった
と言う事は・・・

f i r e ' 1 9

おい！ごだ！

ばが姉ぎ！

『おでが目わどういのじつでるだろ！』

ぜん面所におでの齒ブラジとぼだじ色の眉そり用ガミゾリ置くな！

ハミソリを置くな！と言っ事は間違えてカミソリで歯を磨いたとい
う事。

f i r e ' 1 8 【肝試し】

f i r e ' 1 9 【カミソリ】

解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 0 【パズル2】

f i r e ' 2 1 【解剖学のテスト】

f i r e ' 2 0

あるサイトで彼女と出会った。

そしてある日、初めてデートをした。

少し遅れたのか、彼女は怪訝そうな顔をしていた。

緊張していたのか無口な人で、あまり言葉を発さなかった。

目もあまり合わしてくれない。映画や食事を楽しんだ後、彼女の部

屋に行った。

彼女は、人生に疲れたようだった、なのでプレゼントをあげた。

彼女は喜んでくれた。代わりに俺が好きなジグソーパズルをくれた。

俺は、一旦組み立てられたパズルを壊すのが好きな、変わり者だ。

翌朝1ピースを持って部屋を出た。

俺はいままで付き合った彼女でもパズルが好きだといってジグソーパズルをよくプレゼントとして

もらうのだが1ピースだけ持って帰って、後は忘れるという変な癖がある。

ヒント【かなり難しいですが、もろろとは奪つ方のもろろです】

f i r e
' 2
1

解剖学のテストで高得点をとった
あいつのおかげだ、お礼を言わなくちゃ

ヒント【短いですが、よく読めばわかります】

f i r e ' 2 0 【パズル2】

f i r e ' 2 1 【解剖学のテスト】解説

f i r e ' 2 0 解説

注目ポイント『

あるサイトで彼女と出会った。
そしてある日、初めてデートをした。
少し遅れたのか、彼女は怪訝そうな顔をしていた。
緊張していたのか無口な人で、あまり言葉を発さなかった。

目もあまり合わしてくれない。映画や食事を楽しんだ後、彼女の部屋に行った。

彼女は、人生に疲れたようだった、なので『プレゼント』をあげた。

彼女は喜んでくれた。『代わりに俺が好きなジグソーパズルをくれた。』

俺は、一旦『組み立てられたパズル』を壊すのが好きな、変わり者だ。

翌朝『1ピースを持って部屋を出た。』

俺はいままで付き合った彼女でもパズルが好きだといって『ジグソーパズルをよくプレゼントとしてもらう』のだが1ピースだけ持って帰って、後は忘れるという変な癖がある。

プレゼントとは『死』、『バラバラにする』と言う事で、代わりに
くれた『ジグソーパズル』

とは『バラバラになった彼女』と言う事になります

一旦組み立てられたパズル↓人（彼女）

壊す↓バラバラにする

でこの男は凶悪殺人犯だったという事です。

『解剖学のテストで高得点をとった』
『あいつのおかげ』だ、お礼を言わなくちゃ

解剖学のテストなので『あいつ』を解剖して
高得点を取ったという事です

f i r e ' 2 0 【パズル2】

f i r e ' 2 1 【解剖学のテスト】解説（後書き

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 2 【オシャレな美容室】

f i r e ' 2 3 【道】

f i r e ' 2 2

1ヶ月前、最初だから予約なしでめっちゃオシャレな美容室に勇気だして行ってみた。
客はイケメンが1人だけだったので待つこともなくすぐに切ってもらえた。

やっぱりオシャレな店だけあってまあまあ上手く切ってくれた。

次回からはこちらに電話してもらえますか？と言って帰りに紙をもらった。

そして今回、その紙に電話したら別の店だった。

間違えました。と言ってかけ直したらまたその店にかかってしまった。

しかたないので、一応住所を聞いて行ってみたらオヤジが1人でやつてる

1000円床屋だった。これはどういふことかと悩んだがとりあえず床屋で

切ってもらった。そして今回のいきさつをオヤジに話したら床屋のオヤジも

首をかしげながら電話番号が似てるんですかねえ？と言っていたが、でも

お客さんみたいに刈り上げだったらウチで安くできますんでまた来てくださいと

言われたのでまた来月に来ますと約束して店を出た。まったく不思議な

体験をした。いまだに何が何だかわからんから考えるのをやめた。

ヒント【めっちゃオシャレな美容室で頼んだヘアスタイルは・・・】

少女は道を歩いてる。

知らない道を歩いてる。

途中で出会ったおばさんにたずねた。

少女「ここは何処ですか？」

おばさん「私は少し寂しいねえ。あの子はいつもやさしいのよ。」

少女は道を歩いてる。

夕暮れの道を歩いてる。

途中で出会った青年にたずねた。

少女「うちに帰りたいけど道がわからないの。」

青年「僕はあの子の月にしかねないんだ。」

まわりをクルクル回るだけで、決して近づく事は出来ないんだよ。」

少女は道を歩いてる。

まっすぐな道を歩いてる。

途中で出会ったおじいさんにたずねた。

少女「この先には何があるの？」

おじいさん「悲しみの形は人それぞれ。

あの子がそれに気付くといいけど。」

少女は道を歩いてる。

少女はこの道を知っている。

少女は涙を流してつぶやいた。

少女「そうだったんだ・・・」

ヒント【何故少女はその道を知っていたのかを注目すると・・・】

f i r e ' 2 2 【オシャレな美容室】 f i r e ' 2 3 【道】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 2 【オシャレな美容室】

f i r e ' 2 3 【道】解説

f i r e ' 2 2

1ヶ月前、最初だから予約なしで 『めっちゃオシャレな美容室に
勇気だして行ってみた。』

『客はイケメン』 が1人だけだったので待つこともなくすぐに
切ってもらえた。

やっぱりオシャレな店だけあってまあまあ上手く切ってくれた。

次回からはこちらに電話してもらえますか？と言って帰りに紙をもらった。

そして今回、その紙に電話したら別の店だった。

間違えました。と言ってかけ直したらまたその店にかかってしまった。

しかたないので、一応住所を聞いて行ってみたらオヤジが1人でやつてる

1000円床屋だった。これはどういふことかと悩んだがとりあえず床屋で

切ってもらった。そして今回のいきさつをオヤジに話したら床屋のオヤジも

首をかしげながら電話番号が似てるんですかねえ？と言っていたが、でも

お客さんみたいに『刈り上げだったらウチで安くできます』んでまた来てくださいと

言われたのでまた来月に来ますと約束して店を出た。まったく不思議な

体験をした。いまだに何が何だかわからんから考えるのをやめた。

このお客さんは刈上げだけだから、オシャレ美容室の人が「もう来るな！」って言いたかったのかな・・・

f
i
r
e
'
2
3

少女は道を歩いている。

知らない道を歩いている。

途中で出会ったおばさんにたずねた。

少女「ここは何処ですか？」

おばさん「私は少し寂しいねえ。あの子はいつもやさしいのよ。」

少女は道を歩いている。

夕暮れの道を歩いている。

途中で出会った青年にたずねた。

少女「うちに帰りたいけど道がわからないの。」

青年「僕はあの子の月にしかねないんだ。

まわりをクルクル回るだけで、決して近づく事は出来ないんだよ。」

少女は道を歩いている。

まっすぐな道を歩いている。

途中で出会ったおじいさんにたずねた。

少女「この先には何があるの？」

おじいさん「悲しみの形は人それぞれ。

あの子がそれに気付くといいけど。」

少女は道を歩いている。

『少女はこの道を知っている。』

少女は涙を流してつぶやいた。

少女「そうだったんだ・・・」

少女は回りに回って、来た道を一周してしまい
他の人達との会話内容から考えると
『時計』のはなしだと思います・・・

f i r e ' 2 2 【オシャレな美容室】

f i r e ' 2 3 【道】解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 4 【医 者】 f i r e ' 2 5 【ムービーメール】

f i r e ' 2 4

脳死が確認されて二週間を経過した彼の皮膚細胞は、無数のチューブに繋がれ、人工呼吸器と点滴によって生き続けていた。

しかしそれも、昨日までの話。彼は死んでしまった。

「すみません。手は尽くしたのですが…」

お医者さんはとても悲しそうな顔で告げた。

彼の亡きがらを抱いた時、とても軽くて、苦しかったんだと思う。

でも、もう苦しまなくていいんだよ？ 楽になれたね。

「……………治療費は結構です」

決して裕福とは言えない私の状況を察してか、なんて優しいお医者さんなのだろう。

私はすぐに泣いた。

「……………遺体を見るのは辛いでしょ」

お医者さんがシーツを被せる。

「……………思い出は彼と共に焼いて忘れなさい」

この一言で私は立ち直れた

ありがとうございます。お医者様。

ヒント【なぜ彼のなきがらは軽かったのでしょうか・・・】

f i r e ' 2 5

ある日彼からムービー付きメールが届いた。
なにかと見てみると自殺する内容だった。
縄に首をかけ首を吊って苦しそうに、もがいて彼は逝った。
そこでムービーは終わった。

ヒント【彼は首吊りで逝ったんです】

f i r e ' 2 4 【医者】 f i r e ' 2 5 【ムービーメール】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 2 4 【医者】 f i r e ' 2 5 【ムービーメール】解説

f i r e ' 2 4

脳死が確認されて二週間を経過した彼の皮膚細胞は、無数のチューブに繋がれ、人工呼吸器と点滴によって生き続けた。

しかしそれも、昨日までの話。彼は死んでしまった。

「すみません。手は尽くしたのですが…」

お医者さんはとても悲しそうな顔で告げた。

彼の亡きがらを抱いた時、【とても軽くて】、苦しかったんだと思う。

でも、もう苦しまなくていいんだよ？ 楽になれたね。

「……………治療費は結構です」

決して裕福とは言えない私の状況を察してか、なんて優しいお医者さんなのだろう。

私はすぐに泣いた。

「……………【遺体を見るのは辛いでしょう】」

【お医者さんがシーツを被せる。】

「……………思い出は彼と共に 【焼いて忘れなさい】」

この一言で私は立ち直れた

ありがとうございます。お医者様。

医者は彼の臓器を売買して金を得、治療費は要らないと言って火葬させ証拠を隠滅させた。

f i r e ' 2 5

ある日彼からムービー付きメールが届いた。
なにかと見てみると自殺する内容だった。

【縄に首をかけ首を吊って苦しそくに、もがいて彼は逝った。】

そこでムービーは終わった。

なぜ逝ったのにムービーが撮れたのか？

誰かが停止ボタンを押さないと撮れないはずです・・・

f i r e ' 2 4 【医者】 f i r e ' 2 5 【ムービーメール】解説（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1014m/>

意味がわかると怖い話

2011年8月13日13時01分発行